

自校調理方式の小学校給食 中学校と同様にセンター化で検討 **小中一貫校整備とあわせ、なし崩しの方針転換を検討** **教育長「7月末に取りまとめる」**

宇治市議会6月定例会（6月6日～8日）の一般質問で、市教育長は、小学校給食の提供のありかたについて検討委員会を立ち上げ、来月末までに考え方を取りまとめると答弁しました。

現在、宇治市内の小学校給食は、三室戸小で調理した給食を配送している山間地域の笠取、笠取第二の小学校を除き、20の小学校では、自校で調理した給食が児童に提供されています。

市教育委員会（

小学校の自校調理の給食を センター方式を検討に

現在、市教委は、西小倉地域の3小（西小倉、北小倉、南小倉）と1中（西小倉中）の統廃合計画を進め、西宇治中に新たに小中一貫校を建設する計画を進めています。

これまで、共産党議員が、小中一貫校計画のなかで、小学校も中学校も自校調理の給食をと繰返し質問してきました。市教委は、「検討中」と答

弁し、はつきりとした考えを示しませんでした。小中一貫校の保護者、地元市民との意見交換会でも複数の参加者から「自校方式で中学校でも」と意見が出されています。

い要望の声が上がっています。



市民の願いに背を向けて 突然出てきたセンター化

ところが市教委は、中学校給食のセンター方式による提供事業計画が進むなか、急きよ、西小倉地域の小中一貫校にとどまらず、自校で調理されている市内すべての小学校給食を、新たに設置するセンターで調理することを検討すると方針の転

70年以上続いてきた自校調理の学校給食 乱暴な方針転換は許されません

四季や折々の行事に応じてきめ細かく工夫された安心で温い市の給食は、全国で高い評価を得てきました。

2000年度に給食の民間委託が強行された際には、民間委託に反対する市

換を示しました。

センター方式での検討理由について教育長は、「市内の児童・生徒数は減少傾向が続くと見込まれること」、「各小学校の給食室の老朽化がすすみ、その施設整備に多額の費用と時間を要すること」、「今後、学識経験者等で構成する検討委員会を設置し」、「給食センターの活用とともに、将来的な市の小学校給食提供のあり方について考えたい」「7月末をめどに取りまとめたい」と、一般質問の答弁で明かしました。

民から3万人余りの署名が提出されました。

市の自校調理の学校給食を、なし崩しの方針転換の検討は、余りにも乱暴です。

議員団だより

2022年6月19日号
 Tel : 21 - 3142
 Fax : 24 - 7884



ご意見を！

